

北斎祭り 概要

実施した内容



ねふた絵展示



地域活動紹介



金魚ねふた巡回展示

実施できなかったもの



灯りのフェスティバル
(10月3日 自主開催)



ワークショップ



パフォーマンス



弘前ねふた運行



シンポジウム

北斎祭り 弘前ねぶた絵展示

過去の北斎祭りで三浦呑龍氏が描いたねぶた絵の展示



実施日 : 2020年9月26日(土)～10月25日(日)

実施場所 : 渡辺パイプ株式会社両国ビル

見学者数 : 約150名

北斎祭り まちづくり活動展示

北斎祭りをはじめとする、亀沢で行われる地域活動の紹介



実施日 : 2020年10月24日(土)
実施場所 : すみだ北斎美術館MARUGEN100(講座室)
見学者数 : 94名

北斎祭り 弘前金魚ねぶた展示

弘前市首都圏キャンペーン実行委員会より
贈呈された**金魚ねぶたの巡回展示**



実施日 : 2020年10月27日～2月7日

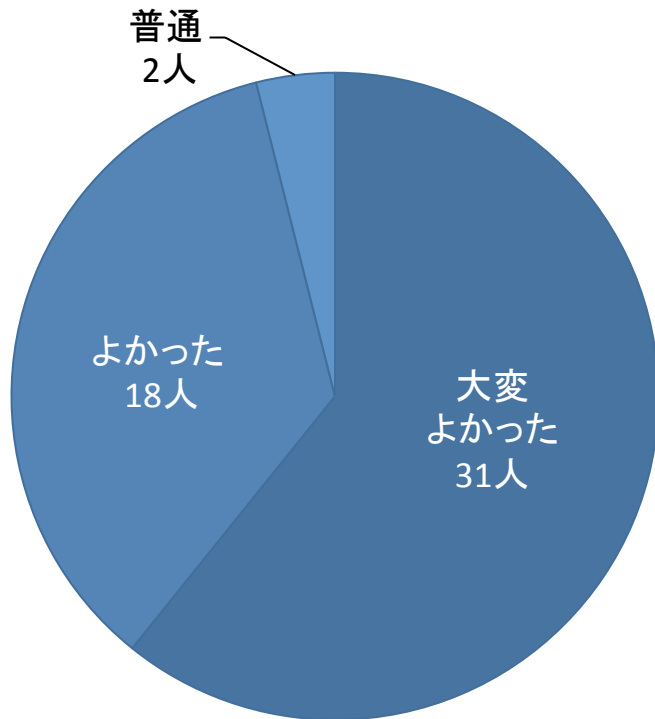
実施場所 : 東武ホテルレバント東京、第一ホテル両国、墨田区役所、東京東信用金庫両国本部

見学者数 : 約600名

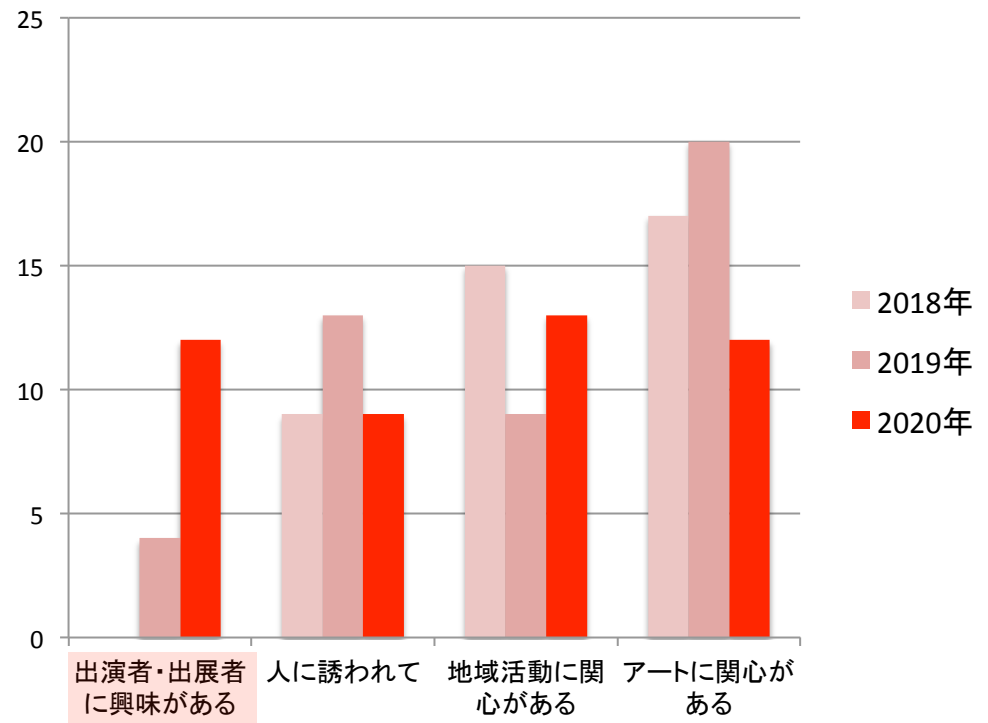
成果① アンケートでの一定の評価

例年からの規模縮小を残念がる声があったが、**一定の満足度を得られた。**
出展者に興味があって参加した人が増えた。

満足度

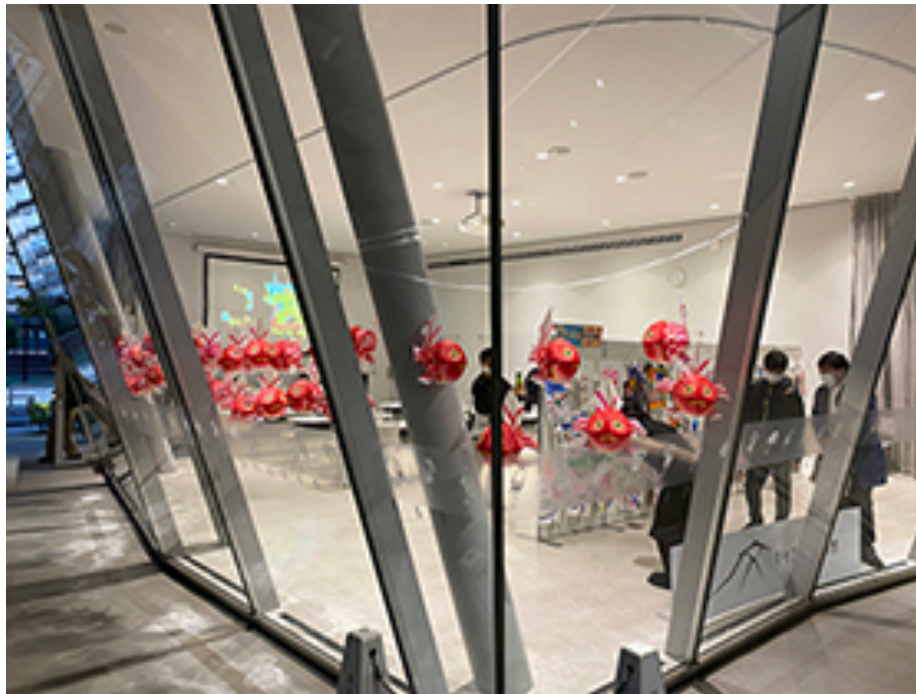


参加したきっかけ



成果② 活動地域外への展開

巡回展示による活動内容の周知や、
外部からのイベント協力依頼が得られた。



区内6箇所の施設での展示により、
多くの人に会の活動内容を知ってもらった



2020年に墨田区ではオリンピックのボタニング競技が実施され、会場となる国技館の周辺には丹精の活性化、観光まちづくりを推進していくための観光振興の拠点として「隅田川リバーセンター」がオープンすることをきっかけに、江戸文化を感じることのできる観光客へのおもてなしイベントを実施します。

2020年に墨田区ではオリンピックのボタニング競技が実施され、会場となる国技館の周辺には丹精の活性化、観光まちづくりを推進していくための観光振興の拠点として「隅田川リバーセンター」がオープンすることをきっかけに、江戸文化を感じることのできる観光客へのおもてなしイベントを実施します。

東京都・東京観光財団主催の体験型イベント
「隅田川 川開き de おもてなし」への協力依頼

成果③ 地域内への波及効果

北斎祭りを含む地域活動が評価され、
今年度の都市景観大賞を受賞。
地域への誇りや自信を喚起する。



地域内芸術活動が
盛り上がる。



亀沢一丁目展覧会



亀沢四丁目芸術祭

工夫① 多方面からの協力

地域内外の個人・団体の協力により催しの充実を図る。



キッズサポートリマによるサイン提供



石渡恭子氏によるタイル絵展示協力



弘前市首都圏キャンペーン委員会による
橘鶴泉氏制作の金魚ねぷた提供

工夫② 多方面からの広報

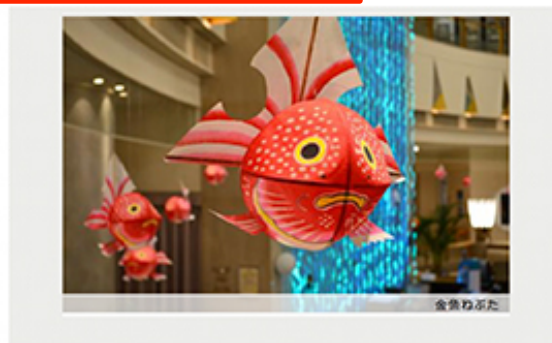
地域内外からの告知・案内により多くの人に認識してもらう。

当会広報紙やホームページでの告知



【觀光情報】 2020.10.29 更新

東京都墨田区で金魚ねぶたを展示



弘前観光
コンベンション協会
ホームページ告知

新型コロナウイルス感染症の影響により、第15回北信祭りでの「弘前ねぶた運行」が中止となりましたが、ねぶた運行に代わる取組として、弘前市首都圏キャンぺン実行委員会よりお盆通りまちづくりの会へ全色ねぶたを提供いたしました。

提供した金魚ねぶたは、今年度当市でねぶたまつりの代替事業として実施した「城下の美風」と同様、伝統的な金魚ねぶたとなっております。

■展示期間：10月27日(火)～11月5日(木)
■展示場所：堂武ホテルレバント東京(東京都墨田区)

金融専門紙「ニッキン」
記事掲載



課題

◎ 公益性の追求

- 公金を使うことの意識づけ、誰もが享受できる日常生活の豊かさの創出
- 地域内での文化芸術活動の拡大

◎ 補助金に頼らない催しへ

- 将来的に補助金に頼らず持続する、自立したイベントへ